

Erinnerungskultur

8/5  
(月)

# ドイツの "記憶の文化"を考える

現代のドイツでナチ時代の歴史と向き合う人々の姿は、日本でも高い関心を集めてきました。この度、映画『ハトは泣いている-時代(とき)の肖像』を題材にして、ドイツの"記憶の文化"を考える会を開催します。芸術家や市民が表現の自由の意味を問い模索する姿、それがドイツでどのように受け入れられたかなどを通して、負の記憶や表現の自由、私たちが生きる社会について一緒に思いをめぐらせてみませんか。

日時	2019年8月5日(月) 午後2時~5時(開場1時30分)
会場	学習院大学 北2号館10階 大会議室 JR山手線「目白」駅より徒歩約5分
内容	映画「ハトは泣いている - 時代(とき)の肖像-」上映(123分) ディスカッション
定員	50名(事前申込が必要です)
参加費	無料
申込	下記のホームページよりお申込みください <a href="http://www.npokokoro.com/20190805">http://www.npokokoro.com/20190805</a>
主催	学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科
共催	学習院大学文学会、NPO法人ホロコースト教育資料センター お問い合わせは、 <a href="mailto:info@npokokoro.com">info@npokokoro.com</a> まで



2017年作品 123分  
企画・演出 松本武顕